

令和7年度 第1回大和市文化芸術振興審議会 会議要旨

1. 日 時 令和7年7月14日(月)10:00
2. 出席状況 委 員 8名(川染会長、井上委員、加藤委員、小須田委員、
小林委員、佐藤委員、篠原委員、橋本委員)
事務局 5名(文化振興課長、文化振興係4名)
3. 傍 聴 人 傍聴人 なし
4. 議 題
 - 1 開会
 - 2 審議事項
 - (1)大和市文化芸術振興基本計画[第3期]実績評価について
 - (2)文化芸術事業の令和7年度の主な取組について
 - (3)やまと芸術文化ホールの令和6年度運営状況について
 - 3 その他
 - (1)文化芸術顕彰候補者について
 - 4 閉会
5. 会議資料
 - 資料1-1 大和市文化芸術振興基本計画[第3期] 実績評価
 - 資料1-2 令和6年度の主な取組
 - 資料2 令和7年度文化芸術事業等の主な変更点について
 - 資料3-1 やまと芸術文化ホールの運営状況について(令和6年度)
 - 資料3-2 やまと芸術文化ホールの文化芸術事業について
 - 資料4 令和7年度大和市文化芸術顕彰候補者について

【会議要旨】

- 1 開会
- 2 審議事項
 - (1)大和市文化芸術振興基本計画[第3期]実績評価について
 - (2)文化芸術事業の令和7年度の主な取組について

○市から、「大和市文化芸術振興基本計画[第3期]実績評価について」「文化芸術事業の令和7年度の主な取組について」を説明。

【意見交換】

- 委員 シリウスができてから、多くの市民が積極的に文化芸術に参加しているように感じる。「大和市文化祭」「大和市民芸術祭」から「やまと芸術祭」への変更をはじめ、古いものから新しいものに、名称とともに市民の意識も変わってきている。
- 市民が実施する展示において、平面作品だけでなく、陶芸、彫刻など立体も増えて芸術の幅がより広がってほしい。
- 華道や茶道などの伝統文化もシリウスを活用して広がればよいと思う。全体的には非常によい方向に向かっていると感じている。

委員	令和7年度の顕彰式コンサートについて、環境の良いところ(ホール設備を幕形式ではなく反響板形式にする)で時間もある中でコンサートを開催する方がよいのではないかと。過去の受賞者に出演してもらうのではなく、タイムリーな方を起用するほうが良いかもしれない。
事務局	令和6年度の文化芸術顕彰授賞式観覧者からは、授賞式だけでなく受賞者のコンサート等も望まれており、令和7年度は、幕形式でも引き受けていただける方を探し依頼している。
委員	文化芸術顕彰受賞者は、海外などで活躍していて多忙な方も多い。日程が合う日に、別途コンサートを実施するのがよいかもしれない。
委員	例えば受賞の翌年には必ずお披露目コンサートがあるという恒例事業にすることで、PR効果があるのではないかと。
事務局	11/3のやまとみらいまつりは、来場者が多く、広く市民に周知することできる。昨年度からメインホールで顕彰式を行っており、授賞式と子ども向けコンサートを実施したところ、授賞式中に子どもたちが退屈していた。令和7年度は、午前中は授賞式＋過去顕彰者のミニコンサート、午後は指定管理者主催のイベントとし、切り分けた。
委員	ヨーロッパなどでは、反響板がないところでコンサートをやることもある。イベントと絡めてやる場合には、仕方がないことかもしれない。3年くらいやってみてはどうか。
委員	令和6年度さくら文芸祭の講評会について。観覧者数が振るわなかったのであれば、コンサートを実施したほうが良かったかもしれない。
委員	世の中の観覧チケットがほとんどオンライン形式になっている。新旧両方の方法を併用して上手くやることを検討してほしい。
委員	「母国語」という言葉より「母語」がよいかもしれない。
事務局	資料を修正する。
委員	シリウスを建設して以来大きな成果が上がっていると感じる。シリウスの課題は2つ。倍率が高く施設予約が難しいこと。災害時の安全性。これらへの対応を検討してほしい。
委員	これまではコロナ前に戻ることを考えていたが、今後は、コロナ後の新しい世情を踏まえて考える必要があるのではないかと。
委員	ワールドフェスタについて、気軽に外国の文化や、食、アートなどに触れられる機会は貴重だと思うので、これだけの来場者があるのに今年度中止になるのは残念だ。
事務局	財政的に厳しいことを受け、文化だけでなく様々な分野で事業が削減されている。イベント自体は評価されているが、費用面から今年度の実施が難しいと判断された。このイベントの意義を違う形で展開できるように検討している。
委員	令和6年にやまと芸術祭一般公募展の受付業務をしたが、図書館目的の高校生や子ども連れの方が素通りするのが残念。入場のハードルを下げる企画はできないか。絵画、写真、書道それぞれの興味がある方がそれぞれの会期に来場するが、他の分野にも足を運べるような工夫があったらよい。
委員	日本語教室の開催について、他自治体には町立の日本語学校がある。体系的・組織的な日本語教室の仕組みを作ることが重要かもしれない。
委員	イラストコンペについて。多くの応募があるのはなぜか。
事務局	審査員長が及川正道氏であること、全国規模のコンペであること、市内の高校からの応募が多いことなどが理由に挙げられる。
委員	他ジャンルでもこのような施策が行えるとよい。
委員	ART100の申込者数が増えてきているがなぜか。

事務局 最近は、ギャラリーなどの文化施設だけでなく、カフェなどの壁面を使った展示の応募が増えてきた。

委員 市民全体の意識が高くなっている成果だと感じる。

(3)やまと芸術文化ホールの令和6年度運営状況について

○市から、「やまと芸術文化ホールの令和6年度運営状況について」を説明。

【意見交換】

○特になし

3 その他

(1)文化芸術顕彰候補者について

○市から、「文化芸術顕彰候補者について」を説明。

— 大和市情報公開条例第7条第3号に該当するため非公開 —

4 閉会